

## 韓国でランピースキン病の初症例

### 病原体

ランピースキン病ウイルス（ポックスウイルス科）

### 症状

- ・ 皮膚の結節（特に頸部・背部・外陰部）、  
水腫、粘膜の結節
- ・ 食欲不振、発熱、抑うつ、リンパ節の肥大、  
鼻や目の出血
- ・ 泌乳量の減少、足の腫れ、跛行

### 伝播方法

- ・ ベクター（蚊、ハエ、ダニなど）の機械的伝播
- ・ 汚染された飼料、水、器具を介した感染



写真出典 [https://www.fao.org/fileadmin/user\\_upload/eufmd/LSD/LSD-002\\_text\\_NO\\_logos\\_\\_2\\_.pdf](https://www.fao.org/fileadmin/user_upload/eufmd/LSD/LSD-002_text_NO_logos__2_.pdf)

**東アジア、東南アジア全域で感染が拡大しています**

**家畜に異状があれば直ちに家畜保健衛生所へ連絡をお願いします**  
**飛騨家畜保健衛生所（飛騨総合庁舎内）**

〒506-8688 高山市上岡本町7-468 E-mail: c24508@pref.gifu.lg.jp

TEL: 0577-33-1111（内線403） FAX: 0577-32-9019

※閉庁時には「お急ぎの場合は、そのまま「1番」をダイヤル願います。」  
の案内メッセージに従って対応をお願いします。